# 母を呼ぶ声

梅雨の日の
いつもと変わらぬ
曇天の空の下
どこからか
猫の鳴き声が聞こえた
その声はとても弱々しく
子猫が鳴いているのだと分かった
母猫とはぐれたのか
その声は
「お母さん、お母さん」と
呼んでいるようで
その日からしばらくの間
朝も「お母さん、お母さん」と
昼も「お母さん、お母さん」と
夜も「お母さん、お母さん」と
呼ぶ声は止むことなく聞こえた

しかしある日
その声が聞こえなくなった
私は子猫が母猫と再会して
どこかに行ってしまったのだと
そう願った
そしてできることなら
二度とはぐれることがないように
あの悲しい声を聞くことがないように
猫の母子が
いつまでも幸せであればと
梅雨があけた空を見上げて
私は心の中で願った